

除草剤が効きにくい雑草**オヒシバ**が 水田畦畔で発生しています!!

増えてしまう原因は…

毎回同じ成分の除草剤を使う
(違う名前の除草剤でも同じ成分のことも)

登録された基準より
濃い濃度や多い量で散布

繰り返す

繰り返す

除草剤が効かない**オヒシバ**が発生!
(一般的な雑草の根まで枯れるグリホサート系成分の除草剤の連用事例が多い)

オヒシバは…



- 穂が見えて2週間くらいで種子ができ、その2週間後には芽が出る
- 20℃を超えると発芽し、気温が高ければ、日長に関係なく1年の間に何度でも生育・出穂・発芽を繰り返す
- 日当たりが良いところが好きなので、ほかの雑草が生えていると**オヒシバ**は生えにくい
- カメムシ等の水稻害虫のすみかになる

オヒシバ対策は…

- 穂が見えたらただちに防除する
- カメムシ等を水稻に移さないために、水稻が出穂する2週間前までに防除する
- 刈払機で刈り取る
- 同じ成分の除草剤を続けて使わないよう、計画的な除草剤散布を行う

令和元年度の実証結果を参考にした、効果的な除草剤散布例は裏面へ!

表1 オヒシバ・水稲の除草剤の効果的な散布例








	オヒシバ (グリホサート系除草剤を散布しても抵抗性が見られる場合)	水稲	除草剤の散布例	
			①	②
3月			カソロン粒剤4.5	
4月	発芽始まる 	代かき 田植え		
5月				
6月	出穂始まる 		ザクサ液剤+ダイロンゾル	ザクサ液剤
7月		穂肥	雑草防除晩限 (カメムシ対策)	ザクサ液剤
8月	オヒシバのみ繁茂 	出穂 収穫		
9月			このほか、アフターエイドフロアブル等、効果が見込まれる除草剤も登録されています。穂が見えたらただちに防除し、土壌中の種子の量を減らしていくことが大切です。	
10月				
11月				
12月	枯死			

表2 除草剤の農業登録適用内容 (令和2年6月18日現在)

(10a当たり)

薬剤名 (成分名)	作物名	適用場所	適用雑草	使用時期	使用量	散布 液量	使用方法	使用 回数
カソロン粒剤4.5 (DBN)	水田作物 (水田畦畔)	水田畦畔	一年生雑草及び 多年性広葉雑草 (まめ科を除く)	秋冬期～春期(雑草 発生前～発始期)	6～ 12kg	—	全面土壌散布	1回
	樹木等	公園、庭園、提とう、駐 車場、道路、運動場、 宅地、のり面、鉄道等	一年生雑草及び 多年性広葉雑草	雑草発生前～発始期	8～ 12kg	—	植栽地を除く 樹木等の周辺地に 全面土壌散布	3回 以内
ザクサ液剤 (グリホシネートP)	水田作物 (水田畦畔)	水田畦畔	一年生雑草、 多年性雑草	収穫7日前まで(雑草 生育期:草丈30cm以下)	500～ 1000ml	100～ 150L	雑草茎葉散布	2回 以内
	樹木等	公園、庭園、提とう、駐 車場、道路、運動場、 宅地、のり面、鉄道等	一年生雑草 多年性雑草	雑草生育期 (草丈30cm以下)	1000～ 2000ml	100～ 200L	植栽地を除く 樹木等の周辺地に 雑草茎葉散布	3回 以内
ダイロンゾル (DCMU)	水田作物 (水田畦畔)	水田畦畔	一年生雑草	雑草発生前～生育初期 (草丈15cm以下)	200～ 250ml	100L	雑草茎葉散布又は 全面土壌散布	1回
	樹木等	公園、庭園、提とう、駐 車場、道路、運動場、 宅地、のり面、鉄道等		雑草発生前～生育初期 (草丈15cm以下)	1000～ 2000ml		植栽地を除く 樹木等の周辺地に 雑草茎葉散布 又は全面土壌散布	3回 以内
アフターエイド フロアブル (キザロホップエチル)	水田作物 (水田畦畔)	水田畦畔	一年生及び 多年性イネ科雑草 (スズメカサビラを除く)	雑草生育期 収穫7日前まで	500～ 1000ml	100L	雑草茎葉散布	2回 以内
	樹木等	公園、提とう、駐車場、 道路、運動場、宅地、 のり面、鉄道等		雑草生育期			植栽地を除く 樹木等の周辺地に 雑草茎葉散布	3回 以内

農業使用の際は、ラベル表示を必ず確認し、飛散防止・農薬使用記録の記帳に努めましょう。
 ※グリホサート系除草剤は、広葉雑草を中心に高い効果を示し、その効果を否定するものではありませんが、連用したことによりオヒシバに対して効果が低くなった事例が見られます。